様式

	技術名称	I P H システム (内圧充填接合補強工法)	技術の分類	工法	NETIS登 (有場合はNE ⁻		CG-070007-V
	会社名等	S Gエンジニアリング(株)	担当者	加川順一(東海	地区=東盛珠樹)	連絡先	082-273-6954(東海地区=052- 323-0821)
		IPHシステムはスプリング式の注入器を使用した超低圧樹脂注入工法です。超低圧と独自開発の「空気抜き」により、他の低圧樹脂注入工法では不可能とされた躯体表面から30cm以上(最大実証値:170cm)や0.1mm以下(最小実証値:0.01mm)への注入を可能にしました。			添付資料	パンフの有無	有
							IPHシステム(内圧充填接合補強 工法)発表論文集
	技術の特徴	他の低圧樹脂注入工法は躯体表面のクラ 工法はコンクリート構造物の主筋周りを を微細部に至るまで樹脂で接合し躯体を す。(注入後の圧縮試験では設計数値の 自然災害による損傷や経年劣化により傷 補強し強度を回復させます。コンクリー 技術です。	含めた内部のクー体化させ補強 1.1~1.3を計測 んだコンクリー	ラックやジャンカ することが目的で IPHシステムは トを内部から接合		め、施工はIPH 研修を終了した 社)に限定して (特許 第507	美手順や手法を誤ると危険なたシステム開発推進協議会の技術システム開発推進協議会の技術と技術者を有する特約店(全国14にいます。②当工法は工法特許4118号)を取得していますが、は見積金額に含まれてます。